



# 周南市で初めてのクラフトビール醸造会社

## スカイホップブルーイング株式会社

代表取締役 平川 洋行さん

取締役工場長 大空 和央さん

周南市で初めてのクラフトビール(※)醸造会社「スカイホップブルーイング株式会社」が設立されたのは2020年11月。創業者は代表取締役の平川洋行さんと、取締役工場長の大空和央さん。創業のきっかけは、ビールを愛してやまない二人の出会いでした。

創業から1年を経た現在、店頭販売・ネット販売・受託生産などにより、当初の事業計画よりも上回る業績を順調に伸ばしています。



## 二人でやれば 大丈夫

平川さんと大空さんの出会いは、3年前の山口県内でのビールイベントです。ビールマニアの二人がイベントを通じて出会い、意気投合。それ以来実際に二人が顔を合わせた回数は数えるほどでしたが、県内のビールイベントの実行委員を一緒に務めていくうちに、ビールを愛してやまないという共通点もあり、強い絆を深めていきました。それは、単なる意気投合や友情を越えたものでした。

県内の地ビール会社で営業を担当していた大空さんは、いずれは自分でビール醸造所を立ち上げたいと考えており、まず資金を貯めるために退社して、ほかの企業に就職しました。それを知った平川さんの行動は素早く、大空さんへの猛烈なアプローチが始まりました。その会社を辞めてすぐに二人で会社を作ろう、二人でやれば大丈夫だから、と何度も何度も言い続けたのです。就職したばかりなのにすぐには辞められないと渋っていた大空さんは、遂に根負けして再就職した会社を一か

月で退職しました。

転職を重ね、多くの経験を積んできた平川さんには、二人でやれば大丈夫だという確固たる自信がありました。それは周りに左右されないで、自分軸で物事を考えるとうまくいく、という経験値に基づく信念からでした。

それに加えて、大空さんじゃないと作れないビールがある、彼のために会社を作りたいという、ビール作りの知識は誰にも負けない大空さんへの強い信頼もあったのです。

こうして二人は会社設立に向けて、動き始めました。



## 周南市 起業化融資制度

会社設立の資金調達のために利用したのが、周南市の起業化向け融資制度でした(市制度融資は各自治体で創設されていますが、とりわけ周南市は融資利率も低く、保証協会へ必要な保証料の支払いを周南市が全額負担してくれるという内容になっています)。その時に、融資元の東山口信用金庫から、融資に必要な保証を引き受けてくれる山口県信用保証協会を紹介されました。保証料は周南市が負担してくれるのですが、同協会にも審査があります。

東山口信用金庫と、保証をする信用保証協会双方の審査を通して初めて、融資を受けることができますが、そのためには事業計画書や収支計画書など多くの書類を提出する必要があります。そのような書類を作成するのは初めての経験だった平川さんと大空さんにとって、信用金庫と保証協会は強い味方でした。双方からのアドバイスを受けながら書類作成に取り組み、同時進行で奔走して収支計



画書の裏付けとなる販売先も確保しました。そうして多くの書類を作成することができ、保証協会からの保証も無事に決まり、信用金庫の融資審査も通り、会社設立の運びとなりました。



初めは計画通りにうまくいくのかという不安もありましたが、現在は店頭販売・卸・ネット販売・受託生産が順調で、計画書の予測よりも業績は伸びています。全国的な音楽フェスティバルからも販売の引き合いがきているということで、今後の伸びしろが楽しみな企業です。

山口県信用保証協会はやまぐち中小企業・小規模事業者経営支援強化事業を行っており、新たな創業・起業の支援にも力を入れています。開業後のフォローとして、中小企業診断士を派遣して経営診断を行い、経営相談を受けるなど、手厚いサポートもしています。今までも多くの創業者や事業継承者が、サポートを受けてきています。



## 想いと情熱と 信頼を原動力に して確実に成長

クラフトビールとは、職人が作るビールのこと。スカイホップブルーイングのクラフトビールのブランド名は「SAVEER(セイヴィア)」といい、SAVIOR(救世主)とBEER(ビール)を掛け合わせ「救世酒」という意味を持たせた造語です。現在同社が生産しているビールは6種類。それぞれに香りや味わいの特徴があり、飲み心地の良いラインナップとなっています。ビールの種類によって原材料の配合・比率は変わり、微妙な調整が必要なので、大空さんは工場につきっきりでビールを育てています。



ビール好きにはビールへのこだわりがあり、持論があり、うんちくを傾ける素人批評家がいる。そして好きなものにはお金を惜しまず、飲み比べもしやすく、嗜好品としてとつきやすい、だからビールには将来性があるという平川さん。品質を落とさないためにも、工場規模と生産量を広げるつもりはないと言い切る平川さんの今後の目標は、スカイホップ

ブルーイングの名前と、「SAVEER」ビールを知っていただくイベントを企画すること。そしていずれは海外のビールも提供するバーを作り、ビールの良さ・美味しさを伝え、多くの人と美味しいを共有していきたいということです。



大空さんは、クラフトビールを広く知ってもらうために、ラーメンに自称評論家がいるように、ビールの世界でも自称評論家を増やし、山口をクラフトビールの街にしたいと言います。これからも勉強を続けて高品質で、多くの人々に喜ばれるビールを作りたいと、季節ごとの味わいを出すビールも作りたくて、ビール職人の大空さんの夢は広がります。

創業から1年、品質が良く美味しいビールを作りたいという想いと情熱、そしてお互いの信頼を原動力として動き続けてきた二人だからこそ、今、成果が確かな形となって表れています。1年でここまで成長できたという二人の自信とプライドは、今後の発展の糧になるでしょう。



### スカイホップブルーイング株式会社

所在地 周南市河東町4-27メナードビル1階

営業時間 10:00~17:00

営業日 水・木・金・土

連絡先 TEL.0834-34-0562 FAX.0834-34-0563

※酒税法上は発泡酒